

メディアコミュニケーション学演習 I B 2 Seminar on Media and Communications IB

担当者 Instructor	王 雪萍(オウ セツハイ)/Wang Xueping						
年度 Academic Year	2018	時間割 Schedule	秋火3 / Tue3, Fall	授業コード Class Code	1540104002	単位数 Credit	2
授業科目区分 Subject category						科目ナンバリング Numbering code	
授業回数 Class frequency							
受講対象学科 Department for enrollment							

【サブタイトル (Sub-title)】

グローバル社会の変容とメディア

【講義の目的・内容 (Course Purpose and Description)】

本演習は、世界各国の新聞、雑誌、出版、テレビ、映画、インターネットなどのメディアの違いを分析し、日本と世界各国のメディア報道を弁別するスキルを高めるための授業です。履修者の興味関心に合わせて、グループワークのメンバーと課題を設定します。履修者がグループワークへの積極的な参加によって、問題設定、調査、問題解決の方法を身に付けていきます。日本語や英語の資料や参考文献を読み、多方面・多視点から問題分析する能力を養います。今学期は特に研究文献を読んで理解する能力と研究発表、レポート作成能力の向上を目指します。

【学修到達目標 (Learning Objectives)】

1. 世界各国のメディアの違いを分析し、弁別する能力を養います。
2. 図書館やインターネットを駆使して資料を収集し、さらに調査・分析する能力を向上させます。
3. 各種メディアの表現方法、効果を学術的に分析する能力や知識を身に付けてもらいます。

【講義スケジュール (Schedule)】

- 第1回 オリエンテーション、夏季休暇中の個人課題の提出、春学期グループワークレポートに関する評価、説明
- 第2回 個人課題の発表 1
- 第3回 個人課題の発表 2
- 第4回 個人課題の発表 3
- 第5回 個人課題の発表 4
- 第6回 外部講師講演
- 第7回 グループワークの最終発表 1
- 第8回 グループワークの最終発表 2
- 第9回 グループワークの最終発表 3
- 第10回 グループワークの最終発表 4
- 第11回 グループワークの最終発表 5
- 第12回 グループワークの最終発表 6
- 第13回 個人課題の発表 5

第14回 個人課題の発表 6

第15回 まとめ

【指導方法 (Instructional Methods)】

1. 演習科目は積極的な参加が必須です。毎回の授業で必ずすべての学生に発言機会を与え、自分の意見をしっかりと述べられるように努力してもらいます。
2. グループワークを通じて、共同作業、共同研究ができる能力を養います。
3. 個人課題の発表を通じて、自分の関心分野を見つけて、資料収集、資料分析の能力を向上させた上で、聴衆を意識したプレゼン能力を高めます。

【事前・事後学習 (Self-study before/after classes)】

受講生には、毎回の話題について発言できるように事前に配布する資料、文献を読んでから、授業に参加してもらいます。また、グループワークと個人課題に関しては、資料調査や発表準備をきちんと行うこと。毎回授業の後、しっかり復習し、教員の講義や、他の学生の報告に対する質問・コメントを必ず提出してもらいます。また授業時に教員が指示した課題についても必ず締切までに提出してもらいます。

【成績評価の方法・基準 (Methods of Evaluation and Grading Criteria)】

授業参加度 10%
グループワーク発表 30%
個人課題発表 30%
提出課題 30%

【成績評価の基準】

東洋大学の成績評価の基準に準拠します。

【受講要件 (Pre-requisites)】

なし

【テキスト (Textbooks)】

配布プリント

【参考書 (Reference Materials)】

授業時に提示

【関連分野・関連科目 (Related Study Fields and Courses)】

【備考 (Notes)】

【添付ファイル1 (File No.1)】

【添付ファイル2 (File No.2)】

【添付ファイル3 (File No.3)】

【リンク (URLs)】